

GoPro、プロでも使えるパワフルな HERO12 Black が新登場

バッテリーのパフォーマンス向上によって、撮影可能時間が最大 2 倍に増加！

「Max レンズモジュラー 2.0」で GoPro 史上最大の超広角撮影の実現や、Bluetooth®オーディオデバイスの接続対応など、撮影機能も大幅にアップグレード

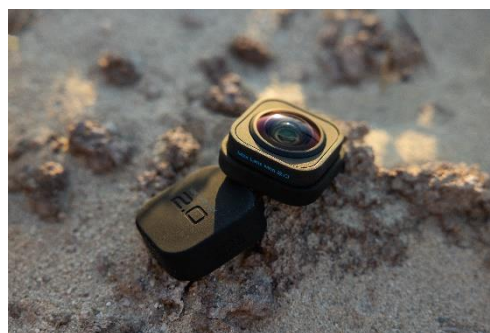


GoPro (NASDAQ : GPRO) は、小型で耐久性が高い、プロでも使えるパワフルな最新モデル、[HERO12 Black](#) を発表しました。HERO12 Black (メーカー希望小売価格 62,800 円) は、従来製品のパフォーマンスを受け継いだまま、再設計した電源管理システムで最大 2 倍の撮影可能時間を実現。圧巻のハイダイナミックレンジ (HDR) ビデオを市場トップクラスの 5.3K および 4K 解像度で撮影できます。さらに、Apple AirPods などの Bluetooth®オーディオデバイスに対応するほか、進化した HyperSmooth (ハイパースムーズ) 6.0 ビデオブレ補正を搭載。撮影機能も大幅に増えた、プロでも使えるパワフルなモデルです。

また、新しいアクセサリの [Max レンズモジュラー 2.0](#) では 177 度、クラス最高レベルの視野角で、4K 解像度、60 フレーム/秒の撮影が可能です。

Max レンズモジュラー 2.0 を使用すると、Max Wide (マックスワイド)、Max SuperView (マックススーパービュー)、そして抜群の臨場感を生み出す新しい Max HyperView (マックスハイパービュー) という 3 種類の視野角設定でビデオや写真を撮影できます。HERO12 Black の広大な 8:7 センサーをフル活用し、ワイドスクリーン撮影時は 36%ワイドに、縦向き撮影では縦の視野角が 48%広がります (HERO12 Black の標準レンズとの比較)。

こうした抜群に広い視野角は、お気に入りのスポーツやアクティビティのあらゆる瞬間を「その場にいるかと思えるような」一人称視点で捉える場合に理想的です。家族や友人とアウトドア旅行や冒険に出かければ、自然に囲まれた夢のような臨場感を再現できます。Max レンズモジュラー 2.0 に採用されているガラスは、従来製品と比べて傷への耐性が 2 倍にアップしています。撥水性レンズコーティングを施しているため、水滴を弾くほか、耐久性にも優れています。



■ GoPro の CEO 兼創業者のニコラス・ウッドマンからのコメント

「HERO12 Black は、臨場感たっぷりにライフスタイルを記録するデバイスとして新しいスタンダードになります。

新しいフラグシップカメラとなる HERO12 Black は、日常やアクティビティを細部まで鮮やかに映し出し、臨場感あふれるコンテンツを記録し共有したいという GoPro の 21 年間持ち続けた情熱の集大成となります。」

■ HERO12 Black の新機能について

[HERO12 Black](#) は、GoPro ならではの耐久性を継承しながら、高速性能と使い勝手が進化したことで、HERO 史上最も高機能かつ利便性に優れたカメラとなりました。

- **最大 2 倍の撮影可能時間**：電源管理システムが大幅に改善され、5.3K60 (HERO12 Black の最高パフォーマンス設定) で 70 分、5.3K30 で 95 分以上、1080p30 で 155 分以上の連続録画が可能になりました (いずれも HyperSmooth 6.0 ビデオブレ補正がオン)。
- **ハイダイナミックレンジ (HDR) の写真とビデオ**：驚異的なハイダイナミックレンジ写真はもちろん、5.3K および 4K ビデオも HDR に対応しています。
- **市場をリードする 5.3K 解像度と 8 倍スローモーション**：4K よりも 91%、1080p より 665% も高い解像度を誇るのが 5.3K ビデオです。最大 2.7K の解像度で、8 倍スローモーションの撮影が可能です。最大 24.7 メガピクセルで画像を切り出せるほか、27 メガピクセルの写真撮影もできます。4K ビデオを最大 120 フレーム/秒で撮影すれば、4 倍スローモーションが可能です。
- **Max レンズモジュラー 2.0 アクセサリーによる卓越した広角映像**：ワイドスクリーン撮影時は 36%ワイドに、縦向き撮影では縦の視野角が 48%広がります。従来製品と比べて傷への耐性が 2 倍にアップしており、撥水性レンズコーティングを施しているため、水滴を弾くほか、耐久性にも優れています。
- **Apple AirPods などの Bluetooth® デバイスの使用を想定し、ワイヤレスオーディオに対応**：Bluetooth® デバイス (Apple AirPods、イヤホン、ヘッドホン、マイクなど) を使って音声を HERO12 Black に直接取り込めるになりました。Vlog やナレーションはもちろん、HERO12 Black を離れた場所から音声コマンドで操作するシーンにも便利です。
- **万能な 8:7 アスペクト比**：1/1.9 インチセンサーにより、市場トップクラスの汎用性を発揮します。広大な 8:7 アスペクト比で撮影し、そのまま使用することも、縦向き 9:16、ワイドスクリーン 16:9、トラディショナルな 4:3 にクロップすることもできます。8:7 アスペクト比がすべてのビデオ解像度で利用可能になったほか、TimeWarp (タイムワープ)、タイムラプス、ナイトラプス、すべてのナイトエフェクトモードとも併用可能になりました。
- **新しい縦向き撮影モード**：横向きにマウントしたままでも縦向きのビデオを撮影し SNS 様に撮影可能になりました。
- **エミー賞受賞のビデオブレ補正と 360° 水平ロック**：HyperSmooth 6.0 には、必要に応じてビデオブレ補正を自動的に発動する次世代の自動ブースト機能が採用されています。クロップマージンが最小限に保たれ、ユーザーはクロップレベルの切り替えを感じる事がほとんどありません。リア + 水平ロックのデジタルレンズと併用すれば、360° カメラが回転するようなシーンでも水平を維持できます。Max レンズモジュラー 2.0 の使用時には、すべてのレンズ設定でこの機能を付けます。
- **GP-Log と各種 LUT**：GP-Log と各種ルックアップテーブル (LUT) により、プロユーザーにとってはポストプロダクションでの編集やカラーグレーディングでの柔軟性が向上しています。
- **GoPro だけの HyperView 超広角レンズ設定**：HERO12 Black の HyperView デジタルレンズは、臨場感あふれる広角ビデオの新たな基準となります。オプションの Max レンズモジュラー 2.0 を使用すると、さらに広角の Max HyperView も選択できます。
- **シンプルになったカメラコントロール**：高い利便性を求めるユーザー向けの「イージーコントロール」が進化し、高度なコントロールと効率を求めるアドバンスドユーザー向けの「プロコントロール」もさらに洗練されました。
- **静止画でのナイトエフェクト**：ライトペインティング、ライトトレイル、スタートトレイルでは、ボタンを押すだけで簡単にプロレベルの撮影が可能です。
- **新しいパワーツール**：ビデオと写真をユニークな方法で撮影できるパワーツールセットに、インターバル撮影が加わりました。インターバル撮影では一定の間隔で写真を撮影。間隔は 0.5 秒から 120 秒まで設定できます。

- **タイムコード同期**：HERO12 Black カメラを何台でもシンクロして、Final Cut Pro や Adobe Premier などの主要なアプリケーションで簡単に編集できます。
- **1/4-20 マウント**：HERO12 Black のマウントフィンガーに他マウント用 1/4-20 ネジ穴が組み込まれた事により、標準的なカメラマウントやアクセサリも利用できるようになります。
- **クラウドへの自動アップロード、自動編集 + 容量無制限のバックアップ**：カメラの充電中に GoPro クラウドアカウントにコンテンツを自動アップロードする、GoPro サブスクリューザー向けの機能です。アップロードが完了すると、自動で作成されたハイライトビデオが届きます。GoPro クラウドアカウントには、すべての GoPro 映像をオリジナルの品質のまま、容量無制限でアップロードできます。
- **耐久性、汎用性、信頼性**：HERO12 Black は、ハウジングを装着しない場合でも水深 10m までの防水性を備えています。「GoPro ならではのタフさ」を発揮し、過酷な環境にも負けません。GoPro サブスクリューザーは、破損したカメラの「理由を問わない」交換補償を利用できます。

■ カジュアルユーザーにおすすめ新機能

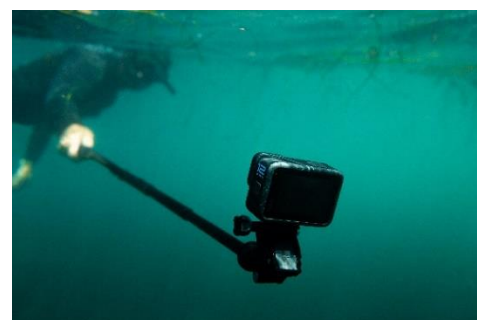
HERO12 Black は、パワフルなプロレベルの新機能を数多く搭載していますが、直感的で使いやすい画面デザインによりカジュアルユーザーでも存分に楽しむことができます。手軽に撮影したいけれど設定も変えたいカジュアルユーザーにも、HERO12 Black の進化した画面デザインがおすすめです。

- Apple AirPods などの **Bluetooth®オーディオデバイス（イヤホン、ヘッドホン、マイクなど）に対応**。Vlog やナレーションはもちろん、HERO12 Black を離れた場所から音声コマンドで操作するシーンでも活躍
- **GP-Log と各種 LUT** により、ポストプロダクションでカラーグレーディングなどの柔軟性が向上
- **ワイヤレスのタイムコード同期機能**を使えば、HERO12 Black カメラを何台でも同期させることが可能。Final Cut Pro や Adobe Premier などの主要な編集アプリを使ったマルチカメラ編集が容易に
- **最適化されたエンコーディング**により、画質を落とすことなくファイルサイズが縮小
- 操作がよりシンプルになり、カメラを横向きに固定したまま**縦長の 9:16 アスペクト比でビデオを撮影できる新しい専用モード**を追加。SNS にもそのまま共有できるようになります。



■ 新しいマウント：延長ポール + 防水リモートシャッター

GoPro は、122cm の延長ポールを新たに発売する予定です。畳むとわずか 25cm になり、HERO12 Black の新しいマウント用 1/4-20 ネジで固定できます。マウントフィンガーも付属しており、GoPro の全カメラに対応します。新しい延長ポールには、着脱式で防水の Bluetooth®リモートシャッターが付属しています。ポールを完全に伸ばした状態でも、HERO12 Black のシャッターを容易に操作できます。新しいリモートコントローラーは、HERO12 Black、HERO11 Black、HERO11 Black Mini、HERO10 Black に対応しています。



新しい延長ポール + 防水リモートシャッターは、2023 年 10 月に発売予定です。詳しくは、GoPro.com をご覧ください。

■ GoPro サブスクリプションユーザーにデスクトップ版の Quik

GoPro はソフトウェア体験の拡大にも努めており、GoPro サブスクリプションユーザーには新しい Quik デスクトップアプリが提供されます。Quik デスクトップは GoPro サブスクリプションユーザー限定で提供されるものであり、追加料金は発生しません。Quik デスクトップは、Quik モバイルアプリのスピードと利便性をデスクトップユーザーに届けるとともに、パソコンの処理能力と大きな画面を活かした追加機能も提供します。Quik デスクトップと Quik モバイルのアプリを同期させれば、一方のアプリで開始した編集プロジェクトに他方のアプリからもスムーズにアクセスできるため、利便性と柔軟性が最大限にアップします。Mac 版の Quik デスクトップは 11 月 1 日に、Windows 版は 2024 年夏に公開されます。



■ 「HERO12 Black」の販売予定について

[HERO12 Black](#) の価格は 62,800 円で、本日 9 月 6 日（水）より [GoPro.com](#) で予約注文できます。

[Max レンズモジュラー-2.0](#) は 16,000 円（GoPro サブスクリプションユーザーは 12,800 円）となります。

各製品に加えて、HERO12 Black Creator Edition (94,800 円) は 9 月 13 日（水）から世界各国の販売店でご購入いただけます。詳しくは、[GoPro.com](#) をご覧ください。

今後公開される Quik デスクトップアプリの詳細については、[GoPro.com/news](#) をご覧ください。

GoPro は、GoPro サブスクリプションユーザー限定の HERO12 Black「Ask Me Anything」バーチャルイベントも 9 月 7 日に開催します。[こちら](#)からご参加ください。

■ GoPro, Inc.について

2022 年に創立 20 周年を迎えた GoPro は、臨場感あふれるエキサイティングなコンテンツを撮影し、それをシェアするためのさまざまなツールを提供しています。[Facebook](#)、[Instagram](#)、[LinkedIn](#)、[TikTok](#)、[X](#)、[YouTube](#)、そして GoPro のブログ [The Current](#) で GoPro とつながりましょう。

GoPro 公式サイト : <https://gopro.com/ja/jp/>

GoPro、HERO およびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国における GoPro, Inc.の商標または登録商標です。